

セラミックコンデンサ事業について

2010年4月30日

セラミックコンデンサ ビジネスグループ
取締役、常務執行役員、General manager
荒谷 真一

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

2010年3月期 実施した施策

- ✓ 国内製造拠点の集約（8箇所=>4箇所）
=> 効果は生産効率向上
- ✓ リストラおよび整流化に伴う設備・人員再配置
=> 効果は一貫生産体制と、費用のスリム化
- ✓ 生産性改善やコスト改善の推進
=> 効果は変動費比率の改善

事業基盤の再構築と収益改善

2011年3月期 実施予定の施策

- ✓ 海外テーピング拠点の集約(8箇所=>4箇所)
=> 効果は固定費削減を見込む
- ✓ 更なる生産性改善やコスト改善の追求
=> 効果は変動費比率の改善を見込む
- ✓ 市場変化に応じた生産体制と製品開発の確立
=> 顧客価値の再構築へ

基盤固めから成長ステージへ



プレゼンテーション資料に関する注記

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。